

文化財・大型モニュメント等修理メンテナンス産業創出支援事業（富山県・高岡市）

400年来の伝統を誇る銅器、漆器産業等の生産・加工技術を活かして、文化財や大型モニュメントの修理・メンテナンスを新たな産業として立ち上げる。これにより伝統技術の向上・承継を図り、従来の生産一辺倒の業態に厚みを持たせ、地域産業の活性化を実現する。



高岡漆器

平成20年度の主な取組

- ① 全国に所在する文化財の所有者・保管状況等を調査し、潜在需要や市場規模を把握するほか、修理メンテナンスビジネスのPR、マーケティングを実施。
- ② 文化財修理の専門家による講習会を通じ、技術者を養成。また、フォーラムを通じて伝統工芸について市民を啓発。さらに、他地域で修理技術について広報するとともに商談を実施。

平成21年度以降の展開

大学との連携も活用し、修理メンテナンス技術を有する人材と伝統工芸産業のマネージメントができる人材を育成。平成26年までに金工漆工伝統技術のメッカとして認められる高岡市を実現する。

白山眺望と花の「風景街道」美しき湯けむりのまちづくりプロジェクト

（石川県加賀市・小松市）

著しく低迷する加賀温泉郷において、アクセスルートを花壇で彩り、白山が映える「風景街道」とするとともに、観光モデルツアー等の取組を住民が主役となって進めることにより、観光振興と同時に地域住民の誇りと生きがいづくりを推進する。



白山の眺望

路肩の花植え

平成20年度の主な取組

- ① 住民参加による道路路肩の花壇づくりや遊休地を活用した苗の育成を試行。
- ② 風景街道にまつわる情報発信を行うとともに観光コンシェルジュを育成し、歴史資源や伝統工芸工房、先端機械生産工場等を巡る風景街道モデルツアーを実施。

平成21年度以降の展開

「美しき風景づくり」のコンセプトのもと、実験をふまえた花づくり養苗畑の造成、地域住民が運営する花の直売所の設置・組織化、エリア・ツーリズムの商品化、風景街道統一サインの整備等の取組を地域住民が主人公となって推進し、北陸を代表する加賀温泉郷の観光ブランド再生を図る。

過疎交通を公共交通でひとつにするプロジェクト（石川県珠洲市）

高齢化・人口減少の著しい珠洲市において、市民生活にとって切実な問題である公共交通（バス）を維持する取組を行うことにより、「生活の足」を確保する。また、バスを多角的に活用し、「地域コミュニティ強化」、「中心市街地活性化」、「交流人口拡大」などの相乗効果を目指す。



平成20年度の主な取組

- ① ボランティアによるバス停の掃除や利用者介助などを実施する。これが、利用者増に結びついたバス路線については、バスの増便や料金を低減するための試行実験を行う。
- ② 中心市街地の商店街や大型店で買い物をした金額に応じ、バスの割引券（引換券）を試行的に配布する。
- ③ 観光地への周遊バスによるモニターツアーを実施する。

平成21年度以降の展開

住民の努力をバス路線の維持・向上へとつなげるシステムの定着、商店街などと連携したバス料金割引の本格導入、地域が提案する旅行商品の開発・販売により、「住民同士が支え合うまち」、「まちなかに賑わいのあるまち」を実現する。

海外富裕層誘客推進事業（The Real Japan Ishikawa Project）

（石川県金沢市・加賀市・七尾市）

有名観光地のさらなるマーケットの拡大・深化を図るため、洗練された食文化、伝統工芸等石川県の有する”本物の日本”を理解する海外富裕層をターゲットとして誘致を戦略的に進める。そのため海外著名人を招いた国際会議開催等のプロモーション活動の展開と、富裕層のための特別な受入体制の開発・強化により、石川の世界ブランド化を目指す。



加賀友禅



七尾湾に面する【和倉温泉:多田屋】



茶懐石の伝統と北陸の郷土料理を味わう【金城楼】



※いずれも協議会を構成する料亭・旅館

平成20年度の主な取組

- ① 米国のプロのライターによる取材をもとに海外著名ホテル等に配置可能なブックレットを作成。海外富裕層を受け入れるための受入ガイドライン・研修カリキュラムを開発。
- ② 世界トップクラスのラグジュアリマーケット関係者を一堂に招聘した国際会議を開催し、世界に向けた情報発信・地元関連業界の意識喚起を図る。

平成21年度以降の展開

海外高級リゾート・ホテルへ等への情報発信媒体を本格整備、海外富裕層の受入のための研修カリキュラムの実施、国際会議の定期開催に向けた民間出資者の発掘等を通じて、海外富裕層を組織的に受け入れるための体制確立と誘客拡大を図る。

魅力と活気あふれる「めがねのまち鯖江」元氣再生事業（福井県鯖江市）

鯖江市は国内最大の眼鏡フレームの産地であり、世界最高の技術力を誇っているが、イタリアや中国製品の台頭により、衰退の一途をたどっている。このため、「鯖江の眼鏡産業」の再生に向け、「作るだけの産地」から「作って売る産地」への転換と産業観光の促進により、地場産業再生と地域のにぎわい創出の相乗効果を目指す。



世界最高の技術力を誇る眼鏡職人



新たな顧客層の開拓・PR

平成20年度の主な取組

- ① オリジナルブランドを構築するため、カリスマ読者モデルとのサングラスの共同開発、東京でのファッションショー、全国メディアでのPRなどを行う。
- ② 眼鏡の製造工程や職人の情熱・こだわりをWEBサイトを通じ消費者に向けて発信する。
- ③ ユビキタスを活用した情報提供や産直ショップによる産業観光の促進を行う。

平成21年度以降の展開

消費者の志向を反映した自社ブランドの拡大、恒常的な教育体制の整備による眼鏡職人の養成、産直ショップの拡大やものづくり体験工房の整備などにより、「楽しむ・愛される眼鏡のまち鯖江」を実現する。

「住んでよし、訪れてよし」観光客と住民が共存するむら『HAKUBA』（長野県・白馬村）

白馬村は、スキーリゾートとして国際的に注目されており、増加する外国人観光客のモビリティを確保するとともに、郷土が受け継いできた伝統文化やコミュニティを体験してもらおう。一方で、村民の足も確保して外出機会や外国人観光客との交流を創出し、元気な住民がもてなす観光地『HAKUBA』を実現する。



民宿街に位置する古民家

平成20年度の主な取組

- ① 民宿街の古民家を「食と文化の交流拠点」として整備し、地域住民による地元白馬のそば打ち体験講座など、地域伝統文化や地場製品を提供。
- ② 観光客の多い冬季を中心に、外国人観光客や地域住民の円滑な移動を実現する村内循環シャトルバス及び乗合型デマンドタクシーの実験運行を実施。

平成21年度以降の展開

地域資源である「古民家」を観光客との交流拠点とし、「はくば蕎麦」を始めとする地域食・伝統食を提供する体制を確立する。白馬村に暮らす人々のライフスタイルや伝統文化が、観光客に感銘を与えられる財産となる「観光客と住民が共存する村」を実現する。

「おんたけ有機構想による、「調和と循環の地域再生」モデル事業」

(長野県・木曾町)

農畜産業の業況低迷、観光客の伸び悩みに直面する開田高原において、生産から消費、廃棄物利用までの循環リサイクルの基に、環境負荷の小さい農業を確立する。これにより、美しい自然環境に加えて、ブランド農畜産物と料理、さらには農業自体を観光資源とする新たなビジネスモデルを創出する。



平成20年度の主な取組

- ① 地元農畜産物を活用したメニューを開発し、農家レストランや民宿で提供。
- ② 首都圏でのPR活動とアンテナショップを展開。また、モニターツアーを実施。
- ③ バイオマス資源の量や種類、処理方法等について調査研究及びバイオマスプラントの事業計画策定。

平成21年度以降の展開

バイオマスプラントを導入して、循環型の農畜産業を完成させる。また、首都圏等での直売システムを構築してPR活動を拡大し、観光業との連携を図ったビジネスモデルを確立する。さらに、「木曾ブランド」の充実を図り、「日本で最も美しい村」での「調和と循環の地域再生」を実現する。

霧ヶ峰“彩り草原空間”構築プロジェクト(長野県霧ヶ峰地域)

(長野県・諏訪市、茅野市、下諏訪町)

霧ヶ峰は、人々が生活の中で採草することで美しい草原を保ってきたが、近年その姿が崩れてきていることから、100年先に伝える自然を再生する。また、ピーク期の受け入れ対策と、オフピーク期の魅力あるエコツーリズム創出で、観光地としての活性化を目指す。



八島ヶ原湿原の七島八島池

平成20年度の主な取組

- ① 持続的な採草による草原の保全再生を図るため、雑木・雑草の活用策を検討。
- ② 植物種の分布調査や湿原の調査で、科学的データを取得
- ③ 霧ヶ峰地域へのピーク時の渋滞問題改善を図るため、通行量調査を実施するほか、自然観察インストラクターの養成を兼ねたオフピーク期のエコツアーを実施。

平成21年度以降の展開

ピーク期のシャトルバス運行、自然観察インストラクター養成講座の開催やエコツアーの試行拡充等を実施し、霧ヶ峰ならではの観光メニューの充実を図る。また、霧ヶ峰“彩り空間”を再生し、世界に誇る自然・文化遺産を有した霧ヶ峰地域を100年後の人々に継承する。

「郡上 長良川源流域森と川の恵み 集落再生 実証事業」(岐阜県・郡上市)

地域に古くから伝承されてきた自然・歴史・文化を資源とし、都市との交流促進や名産品づくりに結びつけることにより、存続の危機にある山村集落を自立させ、活力と誇りある地域へと再生する。



郡上市 和良地区



平成20年度の主な取組

- ① 郡上森林七景を選定し、これと組み合わせたトレッキングルートを開設。トレッキングのインストラクター育成や植林活動も実施。
- ② 地元産間伐材を利用した低価格でコンパクトなコテージハウス(デコハウス)の販路開拓。
- ③ 「石徹白かぶら」「雉」等を活用した地域ならではの味づくりや長良川鉄道による味巡りの旅を開発

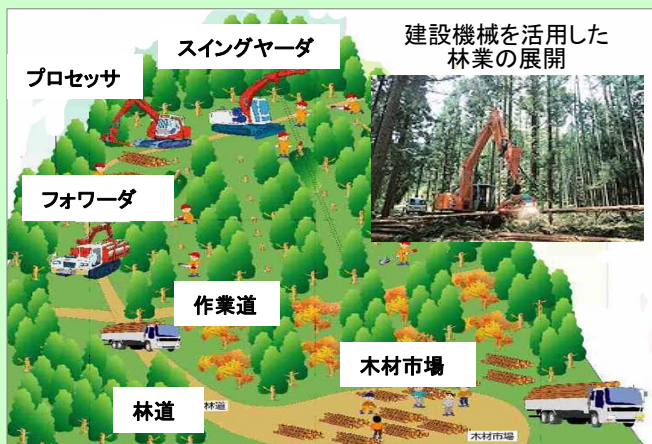
平成21年度以降の展開

トレッキングイベントやツーリングプログラム、奥美濃地域の食文化の提供を通年化し、交流人口の増加を図る。併せて、デコハウスや地産品販売等のビジネス確立、里山の再生等を通じ、自然環境保全と経済活動が共存する自立した山村集落を実現する。

建設業の参入促進による林業改革モデルプロジェクト

(岐阜県・高山市、下呂市、飛騨市、白川村)

担い手が不足している林業と、新規市場の開拓を模索する建設業が、ノウハウ、技術、機械を相互補完し、植林・育林等の環境保全と、地場産木材の安定供給等経済活動を両立させ、持続可能な林業経営システムの確立と雇用の確保を図る。



平成20年度の主な取組

- ① 林業・建設業の経営者を対象に、林業経営の意識改革を図る勉強会を開催し参入を促進。また、機械化した新たな林業に必要な技術を修得させる。
- ② 林業・建設業協働チームにより、路網整備から市場出荷までの生産工程を試行し、経営として成り立つ生産システムを確立させる。

平成21年度以降の展開

経営に必要な知識や、新たな技術の研修を恒常化し、林業・建設業協働の生産システムの高度化と拡大を通じ、「健全で豊かな森林づくり」と地域の活性化を達成する。

こらっしえ稲取大作戦！ローカルエリアプロモーション事業のビジネスモデル確立 (静岡県東伊豆町)

宿泊客数が減少し続けている温泉観光地において、①地域住民による魅力発掘と創意工夫による付加価値のある地域産品や旅行商品を生み出す取組、②人材育成による顧客満足度と集客力の双方を向上させるための取組を一体として行う。これにより、自立的・継続的な観光地実現のためのプロモーション事業のビジネスモデルを確立する。



稲取温泉



ところてん製作体験

平成20年度の主な取組

- ① 地域産品(ところてん、カーネーション、洗顔ソープ)の新たな利用法を提案し、旅館をはじめとした地域内での活用度を大幅に高め、販路開拓・販売促進に結びつける。
- ② 地域発案の旅行商品を造成し、大都市圏の旅行会社に対し、販売プロモーションを行う。
- ③ 顧客満足度と集客力の双方を向上させることを可能とする「人材育成の統一水準マニュアル」を作成し、地域内で人材育成を行う。

平成21年度以降の展開

地域発案の旅行商品によるビジネス展開、特産品の販路拡大のための大都市における拠点づくり、継続的な人材育成が可能となるためのしくみづくりなどの取組を行うことにより、「顧客型の観光地」への転換を図り、「みんなが安心してくらし、笑顔があふれる町づくり」を実現する。

活力ある二俣再生プロジェクト (静岡県浜松市)

蔵をはじめとする歴史的建造物、二俣川とその周辺自然环境・農産品などの地域資源や後背地と市街地の連携により、観光振興、商店街の再生、地域コミュニティの活性化などに複合的に取り組み、地域住民が安心・快適に暮らせる生活環境の構築を目指す。



本田宗一郎記念館
(歴史的建築物)



天竜川(二俣川)

平成20年度の主な取組

- ① 歴史的建築物の調査及び評価と、補修方法や耐震補強を検討する。
- ② 空き店舗や蔵を活用し、地産品のアンテナショップ、コミュニティレストランの開業実験を行う。
- ③ 歩きやすい回遊ルートや二俣川の飛び石渡り通路を設定する。
- ④ 放置竹林の整備、紅葉樹植栽計画の策定を行う。

平成21年度以降の展開

文化財として価値の高い建築物の有形登録文化財への登録申請、アンテナショップの本格展開、街並みデザインガイドラインの作成などを行うことにより、自然と共生し、人・文化・建築物の歴史的資源が活かされた、安心して定住できるまちづくりを実現する。

空港、高速道路の整備を生かした奥大井観光振興プロジェクト

(静岡県川根本町、島田市の一部(旧川根町、旧金谷町))

人口減少・高齢化が進む奥大井地域において、今後予定される「富士山静岡空港の開港」と「第二東名高速道路の開通」によるアクセス改善を観光客誘致の絶好の機会として捉え、東アジア(韓国・中国)と首都圏からの観光客にターゲットを絞り、留学生と連携したPRや、地域まるごと博物郷の形成に取り組み、交流人口の拡大に向けた観光地づくりを目指す。



富士山静岡空港



周遊型旅行商品の一素材
“大井川鐵道のSL”

平成20年度の主な取組

- ① 韓国・中国向けに情報発信を行うとともに、留学生をPR大使として育成・任命し、活用する。
- ② 韓国人の温泉、食事、体験などの嗜好を調査し、ファミトリップ(海外旅行者向けの下見旅行)で旅行商品の販売可能性を調査し、自然、文化などの観光資源をパッケージで提供する。
- ③ 首都圏からの観光客を取り込む「地域まるごと博物郷」の形成に取り組む。

平成21年度以降の展開

韓国での旅行商品の販売、中国からの団体旅行の商品化検討など、富士山静岡空港への東アジアからの誘客の取組を深度化させるとともに、エコミュージアムの考え方を取り入れた「地域まるごと博物郷」を形成し、空港・高速道路を活用した地域経済の活性化を進める。

「ゆいのまちづくり戦略会議」

(愛知県東栄町)

水源保全や農林業振興などそれぞれに活動していた8つの地域活動グループをまとめて「まちづくり連」として協働体制を構築する。これにより定住支援、高齢・小規模農家の増収・生きがいつくり、集落単位の共助活動の展開等を、住民の意思と手で地域一体となって行い、高齢化率4割を超える山間地の再生を図る。



地産品の試作・販売



集落単位の高齢者
支援



山林・原野が9割を占める 東栄町

平成20年度の主な取組

- ① まちづくり戦略会議を通じて暮らしの問題点を抽出し、住民の意思を行政に提言。
- ② 定住支援のための都市側のニーズ調査、シンポジウムを開催。
- ③ 規格外農産物の食材化実証実験。
- ④ 集客力のある「とうえい温泉」を核に地産品の試作販売。
- ⑤ モデル集落における独居高齢者の実態調査・支援モデルの試験的運用。

平成21年度以降の展開

住民が行政に直接参加する仕組みの定着、就業・分譲地の斡旋からフォローまで行う定住者誘致、温泉を核にした地産品によるビジネスモデルの展開、集落単位の共助活動の拡大により、住民自ら参加する「協働のまちづくり」を実現する。

長寿医療の先進地を目指す地域在宅医療ネットワーク構築事業（愛知県大府市・東浦町）

健康長寿社会の実現が求められる中、潜在的な地域資源となっている国立長寿医療センターを核として、在宅療養生活や家族の社会参画をサポートする仕組みを構築する。これにより、地域住民の生活の質の向上や医療福祉分野の新たな産業展開を誘発し、高齢化時代の先進地を目指す。

在宅患者支援・
地域交流プログラムの実施



健康、医療、福祉の専門施設の集積が進む「あいち健康の森」（大府市・東浦町）

平成20年度の主な取組

- ① TV電話機能付き携帯電話等による在宅患者とのコミュニケーションの実証実験、独居高齢者の生活を支援する体制の実証実験、在宅患者とその家族を支援する「在宅医療メイツ」の育成等の試みを実施。
- ② 在宅患者とその家族の積極的な社会参加を促す様々な地域交流プログラムの実施。

平成21年度以降の展開

在宅医療に協力する地域の病院・診療所等の体制を強化し、様々な症状・病態毎の実証を増やすとともに、在宅医療を支援する地域社会の構築と併せて健康長寿分野の産業拠点化を推進し、真の意味で「長生きを喜べる社会」の先進地を実現する。

「朝からはじめるエコ&ヘルシーライフで都市と地方の元気再生」

（愛知県名古屋市区及び県下市町村）

愛知万博を契機とした環境への関心の高まりを地産地消に連動させ、県内の農村からの農産物を直販する朝市において、食品の輸送距離であるフードマイレージに着目したフードエコポイントの導入実験を行うとともに、市民への環境啓発活動を展開し、農業振興と都市部での環境配慮行動の推進を同時に実現する。

身近な食をテーマにした環境学習



都心部における朝市の開催

平成20年度の主な取組

- ① 県内で生産された農産物を販売する朝市等（交流の場）を名古屋都心部で開催。フードエコポイントを付与し、購買行動の変化等を検証。
- ② 「商品を選択することで環境や健康に配慮することができる」ことを伝える講座（学びの場）を開催。環境学習参加者に、EXPO エコマネーのポイントを付与。

平成21年度以降の展開

民間と連携した学びの場の継続実施、環境配慮行動のツールとしてフードエコポイントの本格導入等を通じて、「選択される誇り」「選択することの重要性」を醸成していき、生産者と消費者間の好循環システムを通し、環境配慮行動の定着、食料自給率の向上、持続可能な地域社会を実現する。

～伊勢志摩地域の歴史・文化資源を紡ぐ～

国際観光・海洋文化都市鳥羽の創造にむけて(海の国再生事業) (三重県鳥羽市)

伊勢志摩地域の海の魅力を最大限に引き出すため、自然的資源と文化的・歴史的資源を有機的に組み合わせ、ストーリー性を持たせながら、新たな魅力を付加する取組を行う。これにより、質の高い広域的観光圏を形成し、国際観光文化都市としてのレベルアップを図る。



ライトアップによる夜歩き
できるまちづくり(イメージ)

ライトアップ実施エリア

平成20年度の主な取組

- ① 鳥羽港エリアにおいて、真珠をイメージしたライトアップや商店街の営業時間延長など、夜歩きできるまちづくりに取り組む。
- ② 地場海産物市場や海上周遊ルートづくりなどを通じ、海の玄関口「鳥羽」の拠点機能の強化を行う。
- ③ メディアにおける広報活動、フォーラム開催等を通じ、九鬼水軍、御木本幸吉などの歴史文化の発信を行う。

平成21年度以降の展開

海上オープンカフェの設置、新たな海上ルート(観光ルート、離島航路)の設定、フィッシャーマンズワーフの事業化などにより、国際観光・海洋文化都市の再生を目指す。

南三重地域活性化プロジェクト

(三重県尾鷲市、熊野市、大台町、大紀町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町)

南三重8市町が、平成25年予定の高速道路概成に向けて広域的に連携し、統一的形象「南三重ブランド」のもと、熊野古道等地域資源の情報発信、マイカー客の取り込みや地産品の磨き上げと売り込み、新たな観光スタイルの提案を行う。



熊野古道
馬越峠



都市部や道の駅において8市町が連携して観光・地産品をPR

平成20年度の主な取組

- ① 南三重の統一イメージをホームページ、ポスターなどにより、効果的に発信。
- ② 高速道路を利用する来訪者に対する情報提供や利便性の向上策、道の駅等での地産品販売戦略を策定する。
- ③ 地域資源を発掘して専門家による磨き上げを行い、広域観光マップ等で情報発信。
- ④ メインマーケットである中京圏からの来訪者の志向を詳細に分析し、戦略的な販売プロモーションを行う。

平成21年度以降の展開

南三重地域を一体としてインパクトのある地域ブランドとし、地域産品と観光商品の開発・販売を行う。これにより、高速道開通を活かして中京圏のマーケットを攻略し、産業活性化、交流人口・定住人口の増加、雇用の拡大による地域経済の再生を実現する。